

5月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

<p>新緑に映える平安の雅</p> <p>舞楽神事(ぶがくしんじ)</p>	<p>5月1日(月) 午前10:30～午後3:00</p> <p>神楽殿前庭 祭典・神事</p>
--	--

神楽殿前庭に舞台を設け、当神宮職員及び熱田神宮桐竹会（祭典の奏楽奉仕団体）会員の奉仕により、舞楽を熱田大神様に奉納します。

社伝によると平安時代初期頃にはすでに当神宮で行われていたこの神事は、拝観者を絢爛優美の世界に誘います。

○演目は、振鉦(えんぶ)・承和楽(しょうわらく)・仁和楽(にんならく)・甘州(かんしゅう)・林歌(りんが)・迦陵頻(かりょうびん)・散手(さんじゅ)・貴徳(きとく)・長慶子(ちやうげいし)の計9曲です。



<p>神主さんが歡喜笑樂</p> <p>醉笑人神事(えようどしんじ)</p>	<p>5月4日(木) 午後7:00</p> <p>境内各所 祭典・神事</p>
---	---

俗に「オホホまつり」「於賀斯(おかし)まつり」とも呼ばれます。祭員ひとりひとりが神面を装束の袖に隠し持ち、内2人が袖の上から中啓でその神面を叩いて「オホ・オホ」と唱えます。その後、笛を合図に全員が大声をあげて笑うという、一風変わった神事です。

神事は影向間社・神楽殿・別宮・清雪門の4ヶ所で行われます。

○この神事は、故あって天智天皇7年(668)から皇居に奉斎されていた草薙神剣が、天武天皇朱鳥元年(686)に再び当神宮に還座されたのを、当時の神宮関係者が歡喜笑樂したという故事を今に伝えるものです。



<p>王朝絵巻を今に再現</p> <p>神輿渡御神事(しんよとぎよしんじ)</p>	<p>5月5日(金) 午前10:00</p> <p>本宮～正参道～西門 祭典・神事</p>
--	---

雅やかな装束を着けた約100名の奉仕者が御神宝を捧持し、神輿(みこし)を中心に行列を整え、本宮から正参道・南門を経て鎮皇門(ちんこうもん)跡の西門まで進み、遙かに皇居を望み、皇室の御安泰と国家の隆昌を祈念する祭典を行います。

○この神事は、草薙神剣が皇居から当神宮に還座された時の御神託にもとづいて、鎮皇門から都の方を御覧になって皇城鎮護のお祭りを齎行した故実を今に伝えるものです。



<p>今年の作柄は如何に？</p> <p>豊年祭一花の撓(はなのとう)</p>	<p>5月8日(月) 午前8:00</p> <p>本宮(おためしは西楽所) 祭典・神事</p>
--	---

この祭典は、日本武尊が御東征の折、当地方に農耕・養蚕・培綿の技術を伝えられた御神徳を称えるものです。県内各地の農業関係者等は、祭典後西楽所に奉飾された陸田の畑所と水田の田所との「おためし」(模型)、或いは当神宮で頒布する絵図を見て、自ら今年の作柄を占います。「おためし」は13日までご覧いただけます。

○祭典日から5月中旬までは、境内に苗や植木・家庭用品等売る市が立ち並び、多くの参拝者で賑わいます。



<p>熱田講社の春まつり</p> <p>熱田講社春季大祭</p>	<p>5月9日(火) 午前11:00</p> <p>本宮 祭典・神事</p>
---	--

愛知県を中心に全国各地の崇敬者を結集して組織した、「熱田講社」の春季大祭を執り行います。この日は約30,000名の講員の代表約1,000名が祭典に参列し、御神徳の宣揚と産業殖産、家業の繁栄とを祈ります。



<p>神様のころもがえ</p> <p>御衣祭(おんぞさい)</p>	<p>5月13日(土) 午前11:00</p> <p>本宮 祭典・神事</p>
--	---

午前10時半、機殿(はたどの)の在る港区築地神社の奉賛会会員に捧持された御衣御料(おんぞごりょう)が東門に到着。ここから「大一御用」の大幟を先頭に、御衣奉獻使が神御衣奉獻会会員・稚児等約300名を従え、華やかな行列が本宮に参進。御神前に御衣御料(絹布や麻布等)をお供えします。本年の御衣奉獻使は、(株)松枝衣裳店総本店 代表取締役社長 松枝伸佳氏です。



井戸をのぞいて成育祈願	5月31日(水) 午後5:00
高座結御子神社例祭宵宮祭	高座結御子神社(境外摂社) 祭典・神事

「虫封じ」「井戸のぞき」で知られ、子育ての神様として信仰が篤い高座結御子神社の例祭(6月1日)の宵宮祭をその前日に行います。午後5時からの祭典にあわせ、町内からは子供獅子が多数集まります。又、我が子の無事育成を祈って子供に井戸をのぞかせたり、巫子の振る鈴でお祓いを受けたりする親子づれのほほえましい姿が境内一円で見受けられます。

○本日から明日の例祭にかけて参道に露店が軒を連ねるこのお祭りは、当地方で一番早い夏祭りといわれています。



ちびっ子画伯集まれ	5月5日(金) 午前9:00～午後3:00
第64回熱田神宮神苑写生大会	境内一円 行事

幼稚園児・小中学校生を対象に、境内一円で2,000名以上が参加する写生大会を開催致します。参加希望の方は、当日文化殿前の受付へお越し下さい。



第49回さつき展	5月26日(金)～5月29日(月)
さつき奉献会 さつき奉献	大楠広場 行事

さつき奉献会(会長 石井 孝 氏)会員によるさつき展を開催致します。期間中は会員が丹精を注いだ見事なさつき約30鉢を展示します。



熱田神宮宝物展	4月28日(金)～5月30日(火) 午前9:00～午後4:30
コーナー展「熱田の武器武具」	宝物館 宝物展示

当神宮の御祭神は「尚武の神さま」として知られ、御神体が草薙神剣であることから、武運長久を願って刀剣をはじめ、武器武具などが祈りを込められ献納されてきました。5月のコーナー展では、当神宮が所蔵する古代から現代に至る武器武具を紹介します。(展示品数 約70点)

○入館料 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
 ()内は20名以上の団体料金
 ・入館は午後4時10分まで



文化講座	5月20日(土) 午後2:00～午後4:00
『明日へのあゆみーくらしとしくみー』	文化殿講堂 教養

演題 世界に通じる大和の心
 講師 和プロジェクトTAISHI代表 宮本 辰彦 氏

○聴講無料



献詠祭 献詠歌募集中	5月26日(金)～5月29日(月)
預選歌は神前で披露されます	公募

兼題 「川」
 応募方法 一人1首とする(但し、神前披露にふさわしい歌で未発表のもの)
 ハガキに楷書で明記。住所・氏名にはフリガナをつける。※小中学校生は学校名・学年も記入。
 〆切日 平成29年7月31日
 *本年の献詠祭は9月24日(日)神楽殿で行います

○[出品取扱所] 熱田神宮宮庁総務課 Tel.052-671-4153
 [作品送付先] 熱田神宮宮庁 総務課 献詠係行
 〒456-8585 名古屋市熱田区神宮1-1-1

